



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」

亀田の郷の縞だより

令和5年

004

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強く優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

亀田縞利用促進協議会

Person

秦野 美歩さん

山下家具店 営業企画部バイヤー



お客様に寄り添いながら、良品や暮らしが楽しくなるものを提案

江南区のメインストリート鶴ノ子インター近くに位置するヤマシタ亀田店。江南区を象徴するこの目抜き通りに新潟の老舗家具店が腰を下ろしたのが1984年。その後、家具という「モノの販売」から自分らしいライフスタイル実現をサポートする「暮らし方の提案にシフトチェンジ」を行って、2016年亀田店はフラッグシップ店としてリニューアルしました。

首都圏で雑貨店店長を経て作家ものの仕入等に携わっていた秦野さんはご主人の転勤で新潟へ。現在は同社バイヤーとして忙しく各店を行き来しています。先を読む眼や商品の本質に気づく感性、バランス感覚…大変なこととはたくさんありそうですが、目標はシンプルに「実店舗にしかできない笑顔と出会いのあるショップづくり」にとりこ。

売場には時代を超えて愛される名品や工芸品が多く、それぞれの良さや商品背景をスタッフから伝えることでモノに命が吹き込まれます。いくらネットで便利な

買物ができても質感や空気感などリアルな感動が伝わるのは対面販売だから、いつもお客様の新たな発見やワクワクした気持ちに寄り添っていたいのだとか。

亀田店では天然素材ウェアのファンが多い中「せっかく江南区にあるのだから」と、5年前から亀田縞のワンピースやパンツを展開。多くの世代に楽しんでもらえるシンプルなデザインを中心にチョイスしています。「亀田縞には地元の文化のストーリーがあり布の風合いや着心地も特別。自由に見てさわって試して好きになっていただきたい。そしてたくさんの方の愛着になるお手伝いができたら嬉しいです」。

昨夏、長岡店でもはじめて亀田縞の期間限定ショップを開催。「亀田から離れているので少し不安もあつたけれどスタッフも勉強して、多くのお客様に興味をもっていただくことができました。これからも、ずっと使っていきたいものや暮らしが楽しくなるものを提案して喜んでいただくことが私たちの喜びです」。



ワンピースやパンツなどセレクト。一歩ずつ少しずつ続けていくことが亀田縞のPRにつながると秦野さん。「のんびりゆったり、地道に良さをお伝えしていきたいです」。



今夏も長岡店でポップアップショップを開催予定。スタッフの自由な企画を見守る大らかな社風が現場をあと押ししています。

まちを想う心〜亀中総合学習の2年〜

亀田中学校では生徒が各々の視点で校区を巡って区の宝物を発見する総合学習「袋津巡検」を行いました。



知りたいのは道の幅。大人では思いつかない斬新な計測方法だ。

学校行事や部活動、修学旅行…、青春の大イベントで満ち溢れ、友達と笑いあって豊かな経験で満たされるはずの中学生生活。コロナによって軌道修正せざるを得なかったけど、むしろ有意義に、おそらく一生心に残る濃厚な時間になったのであろう「袋津巡検」。昨年からは二年間、亀田中学校一年生が二年生終了時までに取り組んだ総合学習です。

自分たちの視点で 足元を見つめる機会を

遠方に行けない分、足元の素晴らしさを見つめ直してはどうだろうか。総合学習担当の永井先生は、生徒自身が校区・袋津の魅力を発見し、さらに周りの人にその魅力を伝えるプレゼンテーション力を身につけようという目的でプログラムをスタートしました。「いつか子どもたちが大人になって地元を離れた時にふるさとを誇りに思ってもらいたいし、着眼点を持つてまちを見ることができるようになれば、これからの長い人生、どこへ行っても楽しめるんじゃないかな」。永井先生はくすりと笑いました。

二年にわたるロングラン、いささか異例な授業だけど塚野校長先生が快諾したのは理由がありました。実はこの春定年退職を迎える校長先生、20数年前にも亀田中学で教鞭をふるって、誰よりもここ袋津のどこかで昭和の色濃く残る雰囲気を知っていました。「いつかきつと故郷が心の支えになってくれるんじゃないでしょうか」。

亀田織の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。
個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

はにかむ 機屋だより

中宮機業(有)

わが家の藤棚は
今年も元気です

桜はもっぱら栃尾や見附の配達中に車から眺めるだけなのだけど、GW頃にわが家の藤が咲くのを楽しみにしています。15年位前に鉢植えから地に下ろした2mぐらゐの可愛い藤棚なの。枝の手入れが必要なんだけど、藤棚の下には赤い牡丹が咲いて紫と赤で庭を彩ってくれます。よその人も見に立ち寄ってくれるのよ。事務所のモッコウバラも5月の同じ頃。こちらは手がかからなくて毎年元気に黄色い花を咲かせていますよ。



中林 恵利子 さん

今月のイチ押し!

帆布バッグ

中宮機業では帆布綿でバッグやリュックを作っている。ランチトートやサブバッグとしても活躍しそう。しっかり厚くて丈夫、便利そうです。



中宮機業(有) 新潟市江南区曙町 1-8-18 | TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦織で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田織の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

今月の
テーマ

春です
ね

立川織物

毎年楽しみにしている
横田内科医院の滝桜

急に暖かくなってきたね。昨日あたりから袋津の横田内科医院の滝桜が咲いたよ。遠くまで花見に出かけることはないけど、これは楽しみで毎年散歩がてらうちのと観に行くんだよ。有名な福島の三春の滝桜の子桜だよ(奥様は毎年写真に撮っていて今年もさっそく写メを見せてくれました)。あとすぐ堀(横越排水路)の桜並木も観に行くかな。わが家ではこれから福寿草、ハナニラ、水仙など順番に咲いて春らしくなりますね。



立川 治秀 さん

今月のイチ押し!

リバーシブルトートバッグ

丸みがかわいいリバーシブルのバッグ。深い青に黒縞を配した新しい縞柄、裏は無地で使いやすそう。口が大きくてたっぷり入るので一泊ぐらゐのおでかけ用にもいかが。



立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横織で織り進めるのが特徴で、通常の亀田織より粗野感のあるための糸で織りあげる。スベック染を行う。



左から永井先生、三膳先生、塚野校長先生。校長先生曰く「巡検当日はさぞ賑やかだったことと恐縮していますが、地域全体で子どもを育てているような寛容さ、優しさあふれる土地柄は袋津ならではのと思っています」。



終業式で2年生から後輩たちへ手渡されたマップ。今年度はエリアを江南区全体に広げて実施する。

区の歴史や産業の授業を受け、個人でまちの「宝もの」魅力」を考えたと、1学年240人をシャッフルして小さな班に分け着眼テーマを決めて袋津を巡検しました。

同じ場所を歩いても、切り口が違えば見え方も変わってくる。自由にまちをのぞいてもらいと言われればテーマの視点が実に愉快。「かわいい」「あやしい」「不思議」と感覚を切り口にしたものから、「金魚」「カーブミラー」「消火栓」「レトロ」など、土地の特徴に注目したものでバラエティに富んでいます。

予想を上回る生徒たちの「気づき」に先生たちも四苦八苦。でも「やりたいことを目いっぱい実現できるように可能な限り協力体制を敷き

ました」と、生徒が2年生に進級して担当した三膳(みよし)先生は、カメラを手に生徒たちを追いかけました。袋津エリアの住民には事前に、子どもたちが授業でまち歩きをする旨をお願いして理解を得ると、当日は庭先を案内してくれる人もいるなど、地域一丸となったサポート体制で、生きた社会学習になったとか。

できあがったマップは、バイレツの宝さがし風やQRコードと連動するなど、トレンドを取り入れているのも興味深い。そしてこれが話題となつて江南区長にプレゼンする機会も得て、さらにそのクオリティを目にした江南区は各班のマッピングポイントを一枚にまとめた「袋津巡検隊 発見! マップ」の制作を決定。自分たちで探したまちの宝たちが形になるという嬉しいサプライズに。

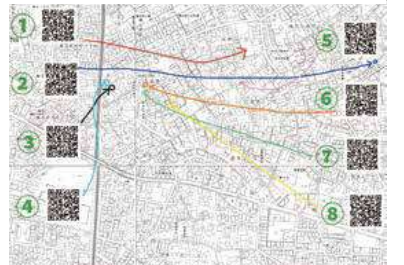
授業から地域や行政が参画して夢をのせた江南区の一大プロジェクトに。生徒たちを待ちを慕う心から取り組みは大きな成果を挙げました。

おもしろ着眼点が続出 「袋津巡検」の学習成果は!?



1.校内発表会のあと代表が江南区長を訪問してプレゼンテーションを行った。
2.イラストや文字がぎっしり書き込まれたマップの前に江南区長も興味津々。

地域巡検をまとめた新しいまち歩きマップ。裏面は袋津の白地図になっていて自分だけの地図が作れる。



それぞれのテーマが明確、しっかりポイントを押さえたマッピング。



NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中!
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

川湊のレトロな町並み 酒屋町のまち歩きを開催

江南区両川地区にある酒屋町は、かつて舟運で栄えた湊町。今もなお、当時の面影を残す町並みを楽しんでもらおうと、3月18日(土)に区がまち歩きを開催。メイン通りの商店街ではお肉屋さんのコロッケを試食するなど参加者の皆さんにも大好評! 酒屋町をまるごと楽しめるまち歩きでした。



いよいよ春が到来 かめだ梅の花めぐりを開催

江南区役所周辺の梅畑を自由に散策できるイベント「かめだ梅の花めぐり」が開催され、参加者は可愛らしく上品な梅の花に癒されつつ春の訪れを楽しんだ。江南区の名産品「藤五郎梅」は食べておいしい実梅。これから梅酒や梅ジュース、梅を使ったお菓子などが各店に立ち並ぶのをお楽しみに。



亀田縞タペストリー 新たに6か所に設置

街角で日常的に亀田縞を感じてもらえることを願い3年目を迎えた亀田縞のタペストリー設置事業。今年も新たに6カ所の店舗に設置を完了した。初の江南区外設置も実現し、亀田縞による景観づくりはどんどん拡大中。

■令和4年度タペストリー新設場所
横雲荘/まちなかCaféふれ〜る/伊藤純一アトリエ/亀田織維工業協同組合/和gen(中央区)/うきべ呉服店(東区)



さわってなじんで好きになる くるみボタンづくり教室

3月11日(土)江南区郷土資料館が「春休みこども体験教室」を開催。亀田縞を小さくカットしてくるみボタンのヘアゴムやしおりを作った。江南区の女の子は「学校でミサンガを作ったことあるよ」と妹と二人分のヘアゴムを作り、中央区から参加した女子は自由に布を組み合わせて個性的なアクセサリに。用意した数十種の布からそれぞれの機屋の亀田縞の手触りや色、柄を比べながら楽しい時間を過ごし、亀田縞巾着袋のお土産にも笑顔があふれた。



先覚に訊く。

亀田縞と同じく、永くこの地で活躍されている
会社やお店の諸先輩を知るコーナーです。

休日には闊達自在、心のままにアクティブに

亀田郷土地改良区の理事長を務める杉本克己さん。亀田郷の農地の用排水を管理し、土地改良を行う団体のトップは、バイタリティーあふれる活動的な方でした。

——子供の頃の思い出をお聞かせください

私は上早通の農家に生まれました。子供の頃は風呂の火焚きが仕事でね、掘り行ってバケツ2つに水を汲んで棒を通して担いで風呂がっぱいになるまで繰り返して運んでました。たまたまお風呂の中でメダカが茹だつていた事もあったね(笑)。あとは学校から帰るとカバンを投げ出してお宮で三角ベースなんかして遊んでました。中三の時に早通中学校が亀田と合併したのだけど結局校舎がでなくて早通にいたまま亀田を卒業しました。貴重な経験ですね。

——高校時代はどのように過ごされましたか

興農館高校では全寮制だったので、みんなでギターを弾いたり外にカーペットやふとんを持ち出して日向ぼっこしたり賑やかでした。先輩の卒業時にはすきやきをふるまったり楽しかったですね。この寮生活があったので、炊事、洗濯、掃除ができるようになりました。

——お休みはどう過ごされていますか

夏は農業だけ冬はスキー。だけど今年



杉本 克己さん

亀田郷土地改良区 理事長
新潟県土地改良事業団体連合会 理事
新潟市土地盤整備促進協議会 会長



プライベート一問一答

Q1.最後の晩餐。なに食べる?
海苔がバリバリの、おにぎり。中身は梅干して。

Q2.行ってみたい場所は?
行ったことがないのでイタリア。それから米を作っている土地があると聞いたのでオーストラリア。

Q3.もしも10億円当たったら?
妻とのんびりゆっくり旅行をします。

2回しか行けなかつたんだよね。え?みんなスキーはしないの、なんで(笑)!?趣味は旅行で国内は高知県以外全部行きましました。沖縄は15回行ったかな。小浜島が好きでこの前は夫婦でカヌーも体験しました。このホテルにはお気に入りの歌手がいて素晴らしいの。有名な人で検索するとすぐ出るからぜひ見てみて下さい。旅先では徹底的に好きな事を楽しみたいからツアーではなくネットを駆使して自分で航空券もホテルも手配します。パリに行ったときも同様でしたよ。そういえば明日から格安航空券が発売されるのを知ってる!?時々みんなに驚かれるのだけど元々パソコンが好きで黎明期には自分でプログラムも作っていたからネットを駆使した情報収集が好きなんだね。自分で何でもしたくなるという性分かもしれないですね。

——今後、してみたいことは?

来年は佐野藤三郎さんの没後30年にあたります。亀田郷の乾田化に努め、中国でも農業の指導を行った佐野さんは、今でも私のお手本です。佐野さんを新潟市の名誉市民にする運動を進めていきたいと考えています。

お気に入りの亀田縞

亀田繊維工業協同組合のホームページでみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております!

■投稿はこちら

<https://kamedajima.net/showcase>

肩肘張らずに自由に楽しむ着物ライフ

とあるイベントで思わず声をかけた亀田縞ファミリー。各々アクセサリやハイヒール、ハンチングと合わせた高難度の着こなしですね。「いやいやただ自由に着ているだけですよ」。ご主人は元ラグビー選手の高校教師、それまでお洒落とは縁がなかったけど、子どもが大きくなって時間の余裕ができた頃に夫婦で見つけた新しい趣味が着物だったそう。「固く考えると面倒だから、格式のある場合はそれとして、普段は気楽に自分流で楽しみましょう」。

勝山益義さん・貴子さん(右)ご夫婦と娘のひかるさん(左)▶



はにかむ for the future 活動日記

亀田縞で作る毎日の愛用品

オール江南区でのぞんだエプロン作り教室

亀田縞の縫いやすさ、着やすさ、独特な風合いを知ってもらってミシンの使い方も学べるエプロン作り教室が開催されました。主催は江南区自治協議会。地域と市民が協力するまちづくりに取り組む同協議会だけに、子育てママたちが安心して参加できる優しい工夫がそこかしこに。保育スペースを用意し、時間内に完成するように直線縫いできる状態からスタートするなど参加者への配慮は十分。ミシンに慣れていない人には丁寧にサポートしながら、全員時間内にお揃いのエプロンが出来あがりました。さっそく身につけて笑顔の記念撮影会。写真を撮りあつたりSNSにアップしたり、皆さん大満足の様子でした。(3月8日/於江南区文化会館)



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区/撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

侍ジャパンがWBCで優勝しました。準決勝のメキシコ戦、決勝のアメリ力戦は日本全体を感動の渦に巻き込みましたが、私の中では試合前の円陣での声出しの締め言葉「さあ、行こう!」が心に残っています。周りの人間はもとより自分自身も鼓舞する魔法の言葉。あらためて言葉の力の大切さを思い知りました。令和5年春、この縞だよりを読んで下さっている全ての皆さんに贈ります。「さあ、行こう!」(スタッフ)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ004

■発行: 亀田縞利用促進協議会/亀田繊維工業協同組合

〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>

■初版発行: 2023年3月29日 ■企画編集: パクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

Blogも更新中!

亀田縞通信はにかむエブリデイ
<https://kamedajimashimashima.jimdofree.com>

情報、投稿
ご意見はこちら



Instagram | @kamedajima_kamedajima



Facebook | 亀田縞-kamedajima

